

令和5年度 実習指導者等講習会(特定分野)最終日のこと



9月27日に開講しました実習指導者等講習会(特定分野)が11月9日最終日を迎えました。

特定分野とは、地域・在宅看護論および老年看護学の領域です。

今回は、訪問看護ステーション、介護老人保健施設、特別養護老人ホームからの受講者16名が修了証書を手に入れました。

最終日は「実習指導案」の発表会とディスカッションでした。

その模様をお伝えしたいと思います。



「目標」「ねがい」「学習者の実態」「教授方略」「教材の研究」「学習環境・条件」この6つの構成要素による授業デザインを整理して指導案を作っていきます。(学び:ねがいが入っている)

「ねがい」=私たちが大事にしていること

最初は自分たちの思いを言語化することが難しかったけど、私たちの「ねがい」は「その人らしい生活をその人らしく送ってもらえるように在宅で支援すること」「寄り添うこと」などなど。

指導案の実際を寸劇で表現したグループもありました。(この記事では表現できないのが残念。。)

最初は「指導者」と上から目線で研修に臨んだけれど、学生と共に学び成長していきたい。と締めくくりました。自分を見つめ直す研修になったようでした。

人生100年時代を支える地域・在宅領域でますます輝いてくれると期待しております。

お忙しい中、講師をお引き受け頂きました先生方、研修に送り出してくださいました所属長はじめ、スタッフの皆様に深く感謝いたします。

静岡県看護協会は、次に続く方々をお待ちしております。

